

# 山中直治年表

和暦	西暦	年齢	月日	できごと
明治 39 年	1906		1 月 27 日	父・紋次郎、母・やいの長男として千葉県東葛飾郡梅郷村（現・野田市山崎）に生まれる。
大正元年	1912	6 歳	4 月	千葉県東葛飾郡梅郷尋常高等小学校（現・野田市立南部小学校）に入学する。
大正 3 年	1914	8 歳	1 月 24 日	弟・民夫が生まれる。
大正 7 年	1918	12 歳	4 月	梅郷尋常高等小学校高等科に入学する。
大正 10 年	1921	15 歳	4 月	千葉県師範学校本科第一部に入学する。瀧口竹松に学ぶ。
大正 14 年	1925	19 歳	3 月	千葉県師範学校本科第一部を卒業する。
			3 月 31 日	千葉県東葛飾郡野田尋常高等小学校の教員（訓導）になる。
昭和 4 年	1929	23 歳	3 月	東京日日新聞に応募した「鉄道唱歌」の作曲が入選する。
			6 月	相馬俊和、かさの五女・登志と結婚する。
			7 月 1 日	仏教音楽協会が募集した仏教聖歌第 2 回募集「四恩の歌」の作曲が入選する。
			12 月 20 日	長女・玲子が生まれる。
昭和 5 年	1930	24 歳		レコード「房州小唄」（作詞：市原三郎）が発売される。
昭和 6 年	1931	25 歳	5 月 2 日	レコード「だんだん畑」「お祭り」（ともに作詞：島田芳文）が発売される。
			6 月 25 日	『新作民謡上総八幡小唄』（作詞：福島貞夫）が発行される。
			9 月 27 日	『新民謡武蔵小唄』（作詞：石原江風）が発行される。
			11 月	『総武鉄道車窓行進曲（沿線情緒流行民謡）』が発行される。
昭和 7 年	1932	26 歳	6 月	コロムビアの専属作曲家となる。
昭和 8 年	1933	27 歳	1 月 20 日	山田耕作編『世界音楽全集第 22 巻』に「世界の子供」が収録される。
			2 月	個人童謡集を発行するために、「コロムビア作曲部専属山中直治」の名で童謡（唱歌）詞を全国に募集する。
			6 月 10 日	野田地方で採譜した「かごめかごめ」「蛭来い」が、広島高等師範学校附属小学校音楽研究部編『日本童謡民謡曲集』に掲載される。
			7 月 15 日	レコード「戦争ごっこ」（作詞：斎藤信夫）が発売される。
			7 月 16 日	山中直治氏後援会の主催により、野田町興風会館大講堂において山中直治作品発表会が行われる。
			8 月 10 日	『山中直治童謡曲集』が発行される。
			9 月 5 日	『小特選楽譜』No.107 に「金の舟」（作詞：富原薫）が掲載される。
昭和 9 年	1934	28 歳	1 月 8 日	『小特選楽譜』No.111 に「雪の降る夜の赤い馬車」（作詞：富原薫）が掲載される。
			11 月 20 日	寺田政吉、みゑの長女・志んと結婚する。
昭和 10 年	1935	29 歳	3 月 31 日	船橋尋常高等小学校（現・船橋市立海神小学校）の教員（訓導）として赴任する。
			5 月	千葉県印旛郡富里小学校校歌を作曲する。（作詞：市原三郎）。
昭和 11 年	1936	30 歳	12 月 10 日	次女・登美子生まれる。
			3 月 19 日	東京・京橋の河合ピアノ店にて校長、助役らと第三校舎のピアノを購入する。
			3 月	「野田音頭」「野田はよいとこ」が採用される。
			5 月 1 日	船橋尋常高等小学校第三校舎ピアノ披露音楽会を行う。
			12 月 30 日	病気のため、船橋尋常高等小学校を退職する。
				「船橋音頭」を作曲。レコードが発売される。
昭和 12 年	1937	31 歳	2 月 13 日	病没。享年 31 歳。